

住民の命と生活を守る事、それが市政最大の責務なのだ！

石渡 登志男 議員

行政の皆様方、住民のご要望を真摯に受け止めていただきたい。正当なる出来ない理由をつけてやらないのではなく、どうしたらそれが実行できるか考えていただきたい。議会不要論・議員不要論・行政不要論は、長年に亘る住民の方々の信頼の失墜から生まれ出た言葉である。今こそ私たちはそれを払拭していかねばならないはずだ。

問 プラセル九十九里は、津波避難ビルになっているのに屋上に上がる事が困難だ。女性や高齢者では先ず無理だ。それを1年と半年近くそのままにしてきた。随分深いことをやると思う。非常に無責任極まりない。津波時の住民の命が掛かっているのだから、補助金とかで何か対応すべきではないか。

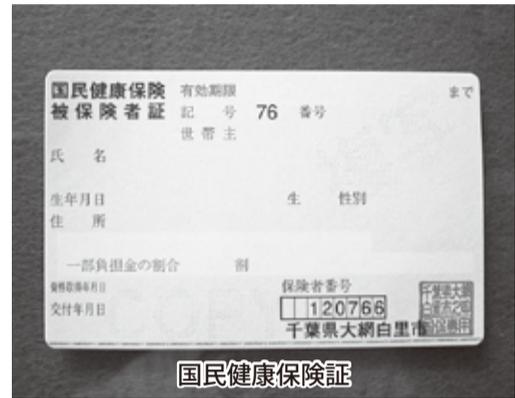
答 今後施設改修費用の補助を含めまして施設管理者と協議するなど、検討してまいります。

問 昨年の2月議会では耐震診断補助事業を訴え行政も頑張り導入された。しかし、耐震改修補助と一体化しない限り件数は伸びないと私は課長にお伝えした。ではその耐震診断の件数と更に昨年より強く訴えてきた耐震改修補助事業の導入をお願いしたい。

答 問い合わせは何件かありましたが、耐震診断を受けた方は0でした。耐震改修補助事業については、議員からお話のありましたように予算案に必要な経費を計上させていただきました。

問 白里地区をただぐるぐる回るだけのコミュニティバス案だが、昨年の9月議会では大反対した。その後大網病院や市街地に行くようになったその努力は認める。ならば乗合い運賃を下げるとかバス停をいくつか飛ばして行くとかの付加価値をつけるべきだ。

答 大網病院や市街地に乗り換えな



国民健康保険証

して行けるようにとの意見がありました。よって路線バス事業者からルートを変更して行なうとの提案がありました。課題や意見について更に協議を重ねて運行を決定したいと思っております。

問 国民健康保険税の値上げだが「市になっても税金が上がる事はなし」と言っていたはずだ。「市になつたから上がったんじゃないやありません」とはうまい事を言うものだ。前から決まっていたなら何で直前になり、こんな問題を出してくるのか。住民はその結果を聞くだけじゃないか。値上げのお願いをする前に先ず「やるべき事があるだろう」と補助金・負担金等で23億円はくだらない。先ず行政が聖域なき歳出削減を徹底的にやるべきだ。それもしないで住民に1億1千万円お願いしなすでは、住民の皆様方もたまつたもんじやない！どうしてこういう話が突然出てくるのか。

答 医療費の増加を背景に検討しました。決して市になつたからと言って税金を上げた訳ではなく、たまたまタイミングが重なつてしまったということをご理解願います。その他、1月15日降雪時の駅前広場の歩道対応についての質問も行った。

瑞穂地区コミュニティセンター建設

田辺 正弘 議員

問 瑞穂地区コミュニティセンターの進捗状況について、議会の同意を得て(H13)、土地改良事業地域の中にセンター用地を確保されたこと、伺っておりますが、なぜ進まないのか。また、いつまでに完成させるのか。

答 現在実施中の幹線道路整備事業の早期完成に向け事業を推進し、その進捗状況を踏まえた中で、完了後地域交流施設の整備を進めてまいります。

問 商工業の活性化に向けて、行政がどのように支援してくれるのか。行政も積極的に参加し進めてもらいたい。

答 地域経済の活性化のため、商工会と大網高校生の共同により、チャレンジショップ「大網笑店」の開催支援、地元消費拡大、地域購買の増強、商工会が発行するプレミアム商品券への支援事業などの支援を行なっております。

問 商工会館は、建築後38年経ち、耐震構造でもない。新しく造るには、どうしたらよいか。行政と共有でき



大網白里市商工会館

る複合施設整備をお願いできないか。行政と共有できる複合施設整備について、商工会や関係部署とも調整を図りながら他の同様な事例等調査し、研究していきたい。

問 商工会青年部への支援について。商工会青年部が行なっている地域活動について、どのような支援策があるのか、商工会と連携を図りながら、また、他の部署と情報を共有しながら検討していきたい。

問 大網駅前(主)山田台大網白里線の直進化は、駅周辺の渋滞解消、安全な通行の確保のため重要であり、総合計画にも記載されている事業であるが、バイパス線が完成すれば現道は市へ移管される。県が所管しているうちに整備していただき、市へ移管されるべきと考えるが？

答 現在、主要地方道山田台大網白里線はJR大網駅前広場を通過し、小中川を渡り主要地方道千葉大網線に接続しております。大網駅前には、駅利用者と通過交通が集中していることから、通行の安全確保と円滑な交通処理を図るため、駅前広場と主要地方道を分離し、都市計画道路3・4・9号線と十字交差することが望ましいことから、県と市で協議を重ねてまいりました。直進化するためには、小中川に新たな橋を架ける必要があり、小中川とJR東金線の高架部が近接しているため、制限高3・8mが確保できないことが大きな問題です。まずは大型車の迂回路を確保する必要があり、現在、事業施行中の山田台大網白里線バイパスの国道128号線までの開通と、金谷川の側道整備が必要であるため、両事業の早期完成を目標として、県と市は、それぞれ鋭意努力しているところでございます。また、施工時期等について県と協議を行なって参りたいと考えております。

思いやりあるまちづくりを目指して

山田 繁子 議員

市政のスタートにあたり、大網白里市に誰もが住んでいて良かったと思われる政策への取り組みを提案してまいります。

問 女性の声を市政に生かす。女性議会・女性会議の開催について。

答 ここ数年の間、本市の女性は多方面に渡り活躍されている方が多くいる。本市の将来像を実現する為に、協働のまちづくりの推進があげられている。女性の提言を市政に生かす、新しい市政への活性化につなげてはどうか。

問 防災対策について。

答 国の平成24年度補正予算を市の防災対策に取り入れる事の取り組みについて。

問 スピーディな市職員の災害時の対応について。

答 私平成24年2月議会において、提案した職員の迅速な行動を示した、職員の「災害時対応マニュアル」の取り組み状況については、進んでいないか。又災害時に職員のスピーディな対応を図る為、全職員による訓練などの取り組みはなされているのか。

まちづくりサポートセンターの支援について。協働のまちづくりを推進していくうえでサポートセンターとの協力・連携は大変大きいものである。新市出発にあたり、新年度に新設される「地域づくり課」に市民協働推進班が設置され、これまで以上に共有して参りたい。

問 出前講座の更なる取り組みについて。

答 市民の行政サービスとして始められた出前講座は平成24年度から制度化され今年1月末現在で申し込みのあったのが64件。3月まで開講予定を含めると延べ千人を超える受講者数となる。参加者からの声も今まで知らなかった市の事を学ぶ事ができた等、多くの声寄せられている。今後メニューを増やす等、工夫をしながら住民サービスの向上を図って頂きたい。

問 高齢者や要支援者を介護する人が安心して介護できる、介護マークプレートの取り組みについて。

答 介護者が安心して介護できるよう本市も取り組んで参ります。その他 住民ニーズの取り組みについて質問させて頂きました。



介護マーク